

「教科・領域」(家庭科) 学習指導案

1. 日時 令和4年12月9日(金) 第5時限(13:15~13:55)
2. 場所 被服室
3. 学部・学年・組 中学部
4. 単元(題材)名 「身だしなみを整えよう」

5. 単元(題材)目標

本単元は小学部学習指導要領生活科の「基本的生活習慣」の「清潔」「身のまわりの整理」「身なり」で授業を実施している。生活を送る上で必要な習慣である「手洗い」「洗顔」の正しいやり方を学びながら、日常生活で活かせるようにしていく。身だしなみに関してはまだ自分から整えていくのは難しい生徒が多いが、制服を着用した等身大の人形を使用することで客観的に見ることができ衣服が乱れていることに自分から気づくことができるようにする。また、鏡を見る意識をつけ、顔や身体を清潔に保つことや自分の身だしなみを整える習慣をつけていくことを目標に取り組んでいく。

- ・正しい手洗いや洗顔、衣服の畳み方を手本を見ながら覚えようとしている(知識及び技能)
- ・人形の衣服の乱れを自ら見つけ、衣服を整えようとしている。(思考力、判断力、表現力)
- ・見た目を清潔にすることや身だしなみを整えることを日常生活で意識しようとしている。
(学びに向かう力、人間性等)

6. 単元(題材)の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 正しい手洗い方法、洗顔の仕方、服の畳み方を学習する。	① 手や顔の汚れを自分で見つけ、見た目を清潔にしようとしている。	① 鏡を見ながら髪の毛、顔、歯、衣服などを綺麗に整えようとしている。
② 正しい手洗い方法、洗顔の仕方、服の畳み方を理解し、実践していこうとしている。	② 人形の衣服の乱れている箇所を自ら見つけ、どうすれば正しい服装に整えるかを考えながら実践していこうとしている。	② Tシャツを綺麗に畳むことを意識しながら取り組もうとしている。

7. 単元の指導と評価の計画(全9時間、本時は第9時)

次	時	学習内容・学習内容	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)

1	1	手洗いについて ・手洗いチェッカーで汚れを見よう 身だしなみについて ・鏡を見て見よう	・軽く手洗いした手と正しい手順で手洗いした手の汚れの違いが分かるように手洗いチェッカーに注視するよう促す。 ・スライドで手順を提示しながら、スライドの内容に沿って鏡を見るように伝える。	B
	2 、 3	手洗いをしよう ・見本通りに手洗いをしよう 身だしなみについて。 ・鏡を見て確認しよう ・人形の服を整えよう。	・見本をしっかり見て、手の動きを模倣するように言葉かけし、正しい手洗いの手順を理解できるようにする。 ・鏡を見て、髪、顔、歯、衣服の汚れを見つけることができるように言葉かけをしながら取り組む。 ・人形の衣服のどの部分が乱れているか自分で考えられるように、一人ずつ取り組んでいく。	A、C
2	4 、 5	洗顔をしよう ・見本通りに顔を洗おう 身だしなみについて。 ・鏡を見て確認しよう ・人形の服を整えよう。	・見本をしっかり見て、水のすくい方や洗い方を模倣するように言葉かけをしながら顔を洗えるようにする。	B、C
	6 、 7	身だしなみについて。 ・鏡を見て確認しよう ・人形の服を整えよう Tシャツをたたもう ・見本通りに畳む	・鏡を見ながら、自分で髪、顔、歯、衣服の汚れや着衣の乱れを見つけることができるように、スライドで確認するポイントを提示していく。 ・Tシャツの畳み方の見本を提示し、手順を覚えていく。	A
3	8 、 9	身だしなみについて。 ・鏡を見て確認しよう ・人形の服を整えよう Tシャツをたたもう ・綺麗に畳む	・鏡を見て自分から身だしなみを整えたり、人形の着衣の乱れを自分で発見し正したりできるよう、言葉かけを減らし自主的に取り組めるようにする。 ・覚えた手順を思い出しながら、衣服の端を揃えることを意識させていく。	A、C

8. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・鏡を見て髪、顔、歯、衣服の汚れや乱れを自分で整えることができる。
- ・人形の衣服の乱れを見つけ、正しい服装に整えることができる。
- ・Tシャツを見本通りに綺麗に畳むことができる。

(2) 本時の評価規準

- ・鏡をしっかり見て、髪、顔、髪の中の汚れを見つけ、見た目を清潔にする意識をもつ。
- ・衣服の乱れに気づき、身だしなみを整えようとしている。
- ・Tシャツの形を整えながら、見本通りに綺麗に畳もうとしている。

(3) 本時の ICT 活用のポイント (活用のねらい、工夫する点)

- ・iPad をテレビモニターに写し、鏡を見ながら髪や身体のどの部分を確認すればよいかをスライドで提示する。
- ・Tシャツの畳み方を動画で提示する。

(4) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準 (評価方法)
5分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・出席をとる。 ・授業内容の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業始めの意識が持てるように、顔を上げ、姿勢を整えて挨拶をする。 ・活動の目的や見通しが持てるように、スライドで授業の活動内容を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を整えて、大きな声で挨拶をすることができる。 ・スライドに注目し、授業の流れを理解することができる。
30分 展開	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身だしなみを整えよう。 ・鏡を見ながら、スライドの内容に沿って髪、顔、歯に汚れがついていないかを見る。 次に、校内服の汚れや着衣の乱れがないか確認していく。 ○人形の衣服を整えよう。 ・人形の衣服の乱れを見つけ、正しい服装に直す。 ○Tシャツを綺麗に畳もう ・手順を確認後、見本通りにTシャツを畳んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時はまとめであることから、自主的に取り組めるように授業を進めていく。 ・鏡を見て自分から身だしなみを整えたり、人形の着衣の乱れを自分で発見できるよう、言葉かけを減らし自主的に取り組めるように促していく。 ・手順を思い出しながら、衣服の端を揃えることを意識できるように言葉かけをおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の髪や顔の汚れを見つけ、清潔な見た目を意識することができる。 人形の衣服の乱れている箇所を自ら見つけ、どうすれば正しい服装に整えるかを考えながら実践していこうとしている。
5分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な見た目や身だしなみを整える大切さを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめのスライドに注目できるように言葉かけをおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な見た目を保つことや服装の整え方に関する質問に答えることができる。